

科目名称：	基礎教養Ⅱ	
担当者名：	幼児教育学科1年生、2年生担任	
区分	授業形態	単位数
基礎教育科目	演習	1
授業の目的・テーマ		
<p>初年次教育「KINJ0ベーシック」として位置づけられています。受動的な学びを「主体的な学び」に転換できるよう、おもに「アクティブラーニング」の手法を使っていること、「学外活動」への参加を前提としていること、2年生と学び合う「チュートリアル」を組み込んでいることが大きな特徴です。グループワークなどを通して人間関係を広げ、いろいろな思いや考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「書く」「発表する」演習を重ねていきます。コミュニケーション力を高め、自ら考え、自ら学ぶ意識が育つこと、さらに、情報リテラシーを含め、社会人基礎力(前に踏み出す力・考え抜く力・チームで働く力)を伸ばしていくことを目的としています。そのため、「金城祭」等の課外行事で他者と協力することも積極的に奨めます。</p>		
授業の達成目標・到達目標		
<ul style="list-style-type: none"> 継続的な生活習慣、学修習慣を身に付け、それぞれの科目で学ぶ知識や技能を定着させる。 様々な知見に触れ、新しい経験をする中で視野を広げ、近い将来、専門職に就く人間として人格を高め磨いていくことが望まれる。 		

基礎教育科目	ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与の方針）	重点項目
DP(1)	自己理解を深め目標に向かって主体的に行動するとともに、多様性を尊重し他者との信頼関係を築いていくことができる。	○
DP(2)	様々な課題に取り組み幅広い教養を身につけるとともに、変化する社会に対応するための協働的な実践力を身につけている。	
DP(3)	専門的な知識や技能を修得し、それぞれの分野において、これらを柔軟に活用していくことができる。	

評価方法/ディプロマポリシー	定期試験	クイズ 小テスト	提出課題 (レポート含む)	その他	合計
全学DP(1)	60		30	10	100
全学DP(2)					0
全学DP(3)					0
					100

実務経験のある教員の担当	担当教員の实務経験の内容（内容・経験年数を記載）	
なし	《内容1》	《経験年数1》
	《内容2》	《経験年数2》
	《内容3》	《経験年数3》
	《内容4》	《経験年数4》

備考

到達目標ルーブリック	すばらしい	とてもよい	よい	要努力
事前学修（「学外活動」及びレポート、小レポート、調べ学習）	期待以上の主体的な事前学修に取り組んでいる。	全ての事前学修に取り組んでいる。	ほぼ事前学修に取り組んでいる。	事前学修を全くしていない。
自分の考えの伝え方（グループワークなど）	他者の考えを尊重し、自分の考えを他者が納得できるように伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えを論理立てて伝えることができる。	他者の考えを尊重し、自分の考えも伝えることができる。	自分の考えが他者に伝わらない。活動にあまり参加していない。

授業の内容・計画	事前事後学修の内容	事前事後学修時間（分）
第1回 主体的な学びのすすめ① 前期の振り返りと学びの計画	シラバスを再度読んでおく。	10分
第2回 主体的な学びと協働① 計画と準備（グループワーク）	参加のための具体的な計画を立て、第12回授業までに学外活動に1回以上参加する。	30分
第3回 主体的な学びと協働② 準備と実践（グループワーク）	どのように計画と準備を行えばよいかを考えてくる。	30分
第4回 主体的な学びと協働③ 計画と準備と実践の振り返り「まとめる」「発表する」	小レポートを担当に提出する。	15分
第5回 いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」①2年生とのチュートリアル	発表の準備物（資料・教材など）を確認し、必要に応じて練習しておく。	20分
第6回 主体的な学びのすすめ②保育士資格・幼稚園免許をとること、保育者になるということ	事前に配付された資料を読んでおく。	90分
第7回 主体的な学びのすすめ③「調べる」「まとめる」（グループワーク）	事前に配付された資料を読んでおく。	30分
第8回 主体的な学びのすすめ④「調べる」「まとめる」「発表する」	発表の準備物（資料・教材など）を確認し、必要に応じて練習しておく。	30分
第9回 主体的な学びのすすめ⑤情報リテラシー	社会人としての常識について考えておく。	30分
第10回 主体的な学びのすすめ⑥SDGs（グループワーク）	事前に配付された資料を熟読しておく。	20分
第11回 主体的な学びのすすめ⑦いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」	2年生の取り組みからの学びをまとめ提出する。（小レポート）	20分
第12回 2年生の取組に参加して学ぶ①ミュージックフェスティバル	「学外活動」に2回以上参加し、1週間以内にレポートを作成し担任に提出する。	60分
第13回 いろいろな考えを「話す」「聴く」「受けとめる」「考える」「発表する」② テーマ：「学外活動」からの学び、一年間の振り返り・まとめ	事前に配付された資料を読んでおく。	20分
第14回 2年生の取組に参加して学ぶ② KINJO特化を知る	各特化担当者から指示された課題に取り組む。	30分
第15回 2年生の取組に参加して学ぶ⑤ KINJO特化成果発表会	各特化担当者から指示された課題に取り組む。	30分
事後学修時間については、受講するにあたっての最低限の目安を明記したが、単位取得のためには原則として授業時間と事前事後学修を含め学則第17条の2で規定された学修時間が必要である。また、事前事後学修としては、上記内容以外に次回までの小レポートをまとめることになる。		
成績評価の方法・基準		
定期試験は、60%で評価する。その他の評価配分は、以下のとおりである。 授業への積極的関与10%、提出課題30%		
課題に対してのフィードバック		
小レポートの記述内容などを担任チームで共有・検討し、次回以降の授業でフィードバックしていく。		
教科書・参考書		
『KINJO Campus Guide』、必要に応じてプリントを配付する。		